

平成31年1月吉日

一般社団法人 京都府理学療法士会会員各位

一般社団法人 京都府理学療法士会
認知症対策委員会 担当理事 中本隆幸

平成30年度 認知症対策委員会研修会（士会指定事業）

近年、リハビリテーションの対象患者の認知症合併の頻度が高いことが指摘されております。また、臨床現場におきましても患者の高齢化に伴いまして、運動障害を扱う理学療法士におきましても、認知症の知識と対処方法について深い理解が求められております。このような背景から、今回、京都府理学療法士会 認知症対策委員会におきまして、下記の研修会を開催し私たち理学療法士は認知症に対してどのように向き合っていけばよいか？ その役割は何か？ を考える機会にして頂ければと考えております。会員の皆様の多数のご参加をお待ち致しております。

日時：平成31年2月10日（日）14:00～16:00（受付開始13:30～）

テーマ：『認知症の予防・診療における理学療法士の役割』

講師：秋口 一郎 先生

京都認知症総合センター 顧問

康生会武田病院 神経脳血管センター長

宇治武田病院 高次脳機能センター長

場所：佛教大学 二条キャンパス N1号館701教室

参加予定人数：100名 ※応募多数の場合は先着順とさせていただきます。

申し込み方法：①氏名(ふりがな)、②施設名、③部署名、④生年月日を記載の上、
下記のメールアドレスよりお申込み下さい。

申し込み期間：平成30年12月1日（土）～平成31年2月2日（土）

参加費：無料

問い合わせ先：一般社団法人 京都府理学療法士会 認知症対策委員会 kyoto.ninchisho@gmail.com まで。

※この研修は、『士会指定事業』になります。地域包括ケア推進部からのご案内もご確認頂き、ご注意の程宜しくお願い致します。